

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

ヨハネ福音書を
「大祭司」をカギにして
読み解く

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

至聖所で語られる主の声

"その『宥めの蓋』を箱の上に載せる。箱の中には、あたしが与えるさとしの板を納めぬ。あたしはそこであなたと会見し、イスラエルの子らに向けてあなたに与える命令を、その『宥めの蓋』の上から、あかしの箱の上の二つのケルビムの間から、ことごとくあなたに語る。"

出エジプト記 25章21-22節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

大祭司の働き

"また、モーセの命令どおりには、安息日ごと、新月の祭りと、年三回の例祭、すなわち、種なしパンの祭り、七週の祭り、仮庵の祭りとには、日ごととの定めにしたがって献げられた。" 歴代誌 第二十八章13節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

記念祭、安息日の場面

"さて、ユダヤ人の過越の祭りが近づき・・・" 2章13節

"その後、ユダヤ人の祭りがあって・・・" 5章1節

"・・・その日は安息日であった。" 5章9節

"ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。" 6章4節

"時に、仮庵の祭りというユダヤ人の祭りが近づいていた。" 7章2節

"イエスが泥を作って彼の目を開けたのは、安息日であった。" 9章14節

"そのころ、エルサレムで宮きよめの祭りがあった。時は冬であった。" 10章22節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

燭台の光、輪型のパン

"アロンは会見の天幕の中、あかしの箱の垂れ幕の外側で、夕方から朝まで主の前に絶えずそのともしびを整えておく。これはあなたがたが日々守るべき永遠のおきてである。"

"あなたは小麦粉を取り、それで輪形パン十二個を焼く。一つの輪形パンは十分の二エパである。それを主の前のきよい机の上に一列六つずつ、二列に置く。"

"彼は安息日ごとに、これを主の前に絶えず整えておく。これはイスラエルの子らによるさげ物であって、永遠の契約である。"

レビ記 24章3,5-6,8節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

燭台の光 — まことの光 (3章)

"すべての人を照らすそのまことの光が、世に来ようとしていた。" 1章9節

"そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。悪を行なう者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。しかし、真理を行なう者は、その行いが神にあってなされたことが明らかになるように、光の方に来る。"

3章19-21節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

燭台の光 — 世の光 (8章)

"イエスは再び人々に語られた。「あたしは世の光です。あたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」"

8章12節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

輪型のパン — いのちのパン (6章)

"イエスは言われた。「あたしがいのちのパンです。あたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、あたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことがありません。」 6章35節

"そこで彼らが集めると・・・余ったパン切れで、十二のかがごがいっぱいになった。" 6章13節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

仮庵祭の教え — 父に遣わされた (7,8章)

"イエスは宮で教えていたとき、大きな声で言われた。「あなたがたはあたしを知っており、あたしがどこから来たかも知っています。しかし、あたしは自分で来たのではありません。あたしを遣わされた方は真実です。その方を、あなたがたは知りません。あたしはその方を知っています。なぜなら、あたしはその方から出たのであり、その方があたしを遣わされたからです。」"

ヨハネの福音書 7章28-29節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

最後の晩の教え — 御霊を遣わす (13-17章)

"しかし、あたしは真実を言います。あたしが去って行くことは、あなたがたの益になるのです。去って行かなければ、あなたがたのところに助け主はおいでになりません。でも、行けば、あたしはあなたがたのところに助け主を遣わします。"

ヨハネの福音書 16章7節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

大祭司の祝祷

“「アロンとその子らに告げよ。『あなたがたはイスラエルの子らに言って、彼らをこのように祝福しなさい。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』”

民数記 6章23-26節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

恵みとまことに満ちている

"ことば"は人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとりの子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。" 1章14節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

見える者が「盲目となる

「そこで、イエスは言われた。「あたしはさばきのためにこの世に来ました。目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」

9章39節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

羊たちを盗み殺し滅ぼす

"あたしは門です。だれでも、あたしを通って入るなら救われます。また出たり入ったりして、牧草を見つけます。

盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかなりません。・・・" 10章9—10節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

偽善の律法学者、パリサイ人

"あざあいだ、目の見えない案内人たち。・・・"

"目の見えない者たち。・・・"

"目の見えないパリサイ人。・・・"

マタイの福音書 23章16,19,26節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

ラザロ (エレアザル) の死と復活

"しかし、彼らのうちの一人で、その年の大祭司であったカヤパが、彼らに言った。「あなたがたは何も分かっていない。一人の人が民に代わって死んで、国民全体が減びないですむほうが、自分たちにとって得策だということを、考えてもいない。」このことは、彼が自分から言ったのではなかった。彼はその年の大祭司であったので、イエスが国民のために死のうとしておられること、また、ただ国民のためだけでなく、散らされている神の子らを一つに集めるためにも死のうとしておられることを、預言したのである。" 11章49-52節

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

ヨハネ福音書の概略

- 1:1-18 証しの歌
- 1:19-4: 創造の7日間 (弟子招集) とエデンの園
- 5:-10: 時はまだ (光と闇の戦い)
- 11:-20: 時が来た (勝利の栄光)
- 21: 弟子を再招集

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

ヨハネ福音書～ヨハネの手紙～黙示録

- 1:1-18 証しの歌
- 1:19-4: 創造の7日間 (弟子招集) とエデンの園
- 5:-10: 時はまだ (光と闇の戦い)
- 11:-20: 時が来た (勝利の栄光)
- 21: 弟子を再招集～ヨハネの手紙～黙示録

福音書を読む (聖書人になりたい・シーズン7)

#27 ヨハネ福音書を「大祭司」で読む

みことばに生きる聖書人が
生まれ増えていきますように

チャンネル登録と高評価で応援お願いします